

授業科目 相談援助演習 IV

【担当教員名】 青木 茂		対象学年	3	対象学科	社会
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	◎	○	○	◎	
【概要・一般目標：G10】 地域福祉援助活動（コミュニティワーク）の事例をもとに、ニーズ把握からサービス評価に至るプロセスについて、小グループでのディスカッションと全体発表を段階的に積み重ねながら、一連の援助過程を実践的に理解するとともに、それを理論的に体系立てられる思考力と表現力を身につける。 保健・医療・福祉の連携、地域ネットワークの活用や連携における専門職としての視点（思考）と方法（技能）を学び、その習得を目指す。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 地域住民へのアウトリーチとニーズ把握について実践的に取り組む 2. 地域福祉計画について実践的に取り組む 3. ネットワーキングについて実践的に取り組む 4. 社会資源の活用・調整・開発について実践的に取り組む 5. サービスの評価について実践的に取り組む					
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	オリエンテーションとグループの編成			講義・演習（アイス・ブレイキング）	
2	地域福祉援助活動の展開 1		1	グループでの演習および作業	
3	地域福祉援助活動の展開 2		1	グループでの演習および作業	
4	地域福祉援助活動の展開 3		1	グループでの演習および作業	
5	地域福祉援助活動の展開 4		2	グループでの演習および作業	
6	地域福祉援助活動の展開 5		2	グループでの演習および作業	
7	地域福祉援助活動の展開 6		3	グループでの演習および作業	
8	地域福祉援助活動の展開 7		3	グループでの演習および作業	
9	地域福祉援助活動の展開 8		4	グループでの演習および作業	
10	地域福祉援助活動の展開 9		4	グループでの演習および作業	
11	地域福祉援助活動の展開 10		5	グループでの演習および作業	
12	地域福祉援助活動の展開 11		5	グループでの演習および作業	
13	事例検討の考察・総括 1		1, 2, 3, 4, 5	成果発表 意見交換 他	
14	事例検討の考察・総括 2		1, 2, 3, 4, 5	成果発表 意見交換 他	
15	まとめ		1, 2, 3, 4, 5	意見交換 討論 他	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		社会福祉士 相談援助演習	日本社会福祉士養成校協会 監修	中央法規	2009・2,600円＋税
その他の資料					
【評価方法】 出席状況、参加態度、課題の達成度（発表やレポート）により総合的に評価する。		【履修上の留意点】 グループ演習が中心となるので遅刻、無断欠席は厳禁。			